

IJCAD Network License Manager

運用マニュアル



目次

1. IJCAD NetWork License Manager について

- 1-1. 動作環境----- 1
- 1-2. ライセンスの利用 ----- 1
- 1-3. ユーザー情報の確認 ----- 2

2. ネットワークライセンスの貸出と返却

- 2-1. ライセンスの貸出 ----- 3
- 2-2. ライセンスの返却 ----- 6

3. LMTools について

- 3-1. LMTools の起動 ----- 8
- 3-2. ホスト名、ホスト ID 等のシステムの設定確認 ----- 9
- 3-3. サーバーの起動・停止 ----- 9
- 3-4. ライセンスの使用状況の確認 ----- 10
- 3-5. デバックログファイル ----- 11

4. クライアントのセットアップの初期値設定について

- 4-1. 設定可能な項目 ----- 12
- 4-2. 管理者側での設定 ----- 13

改訂履歴

2024.02.01 IJCADNLM 運用マニュアル 初版発行

1. IJCAD NetWork License Manager について

1-1. 動作環境

IJCAD ネットワークライセンスマネージャーをご使用いただくためには、以下の動作環境が必要です。

対応 OS

Windows Server 2016
Windows Server 2019
Windows Server 2022

- ※ ご使用いただくサーバーマシンのスペックは各 OS の動作環境に準拠します。
- ※ 旧 Ver 4.0(2017/2/1 公開版)より、64bit 版に対応しました。OS と異なる bit 数のライセンスマネージャーは、インストールできないように制限されています。OS と同じ bit 数の製品をご利用ください。

最新の対応 OS の情報は、IJCAD の WEB サイト(<https://www.ijcad.jp/>)にて公開しています。

1-2. ライセンスの利用

ネットワークライセンスでは、サーバーの IJCAD NetWork License Manager に IJCAD のライセンスを登録し、そのライセンスをネットワークからクライアントに発行することで、クライアント側にてライセンスを利用することができます。

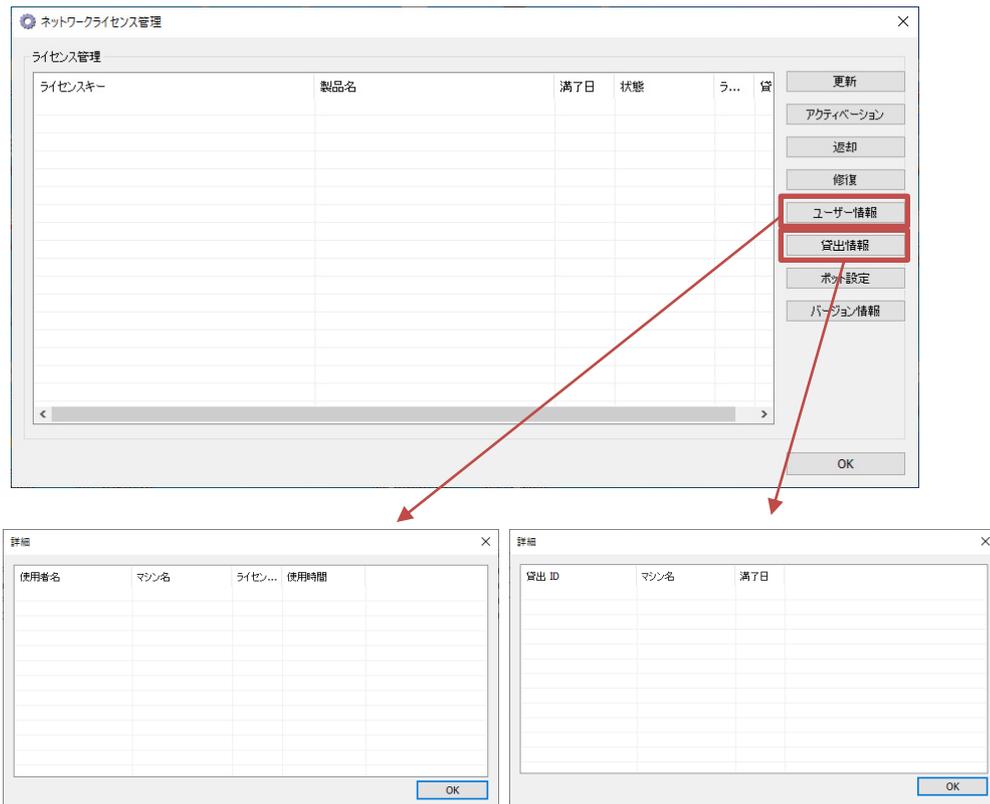
ライセンスの登録方法については、[IJCAD NLM セットアップマニュアル] をご参照ください。

1-3. ユーザー情報の確認

現在、ライセンスを取得しているユーザーの情報を表示します。

[ネットワークライセンス管理] ダイアログにてライセンスを選択し、[ユーザー情報] をクリックすると、現在 接続している ユーザーの情報が表示されます。

[貸出情報] をクリックすると、現在 貸し出している ユーザーの情報が表示されます。



2. ネットワークライセンスの貸出と返却

ネットワークライセンスでは、ライセンスの貸出機能により、サーバーからクライアントのマシンへライセンスを期限付きで貸出することができます。

(借用期間中はサーバーから取得できるライセンス数は減ります)

ライセンスの貸出を行うと、インターネット環境の整っていない場所でも、一時的にライセンスの使用が可能になります。

借用期限が過ぎますと、ライセンスはサーバーへと自動的に返却されます。

また、クライアントからの返却の処理により借用期間内でもライセンスを返却することも可能です。

※ 冗長型ライセンスサーバーの場合は、貸出機能をご利用いただくことができません。

2-1. ライセンスの貸出

ライセンスを借用するクライアントのパソコンにて操作を行います。

① IJCAD ライセンス管理の起動

以下の手順にて [IJCAD ライセンス管理] ダイアログを開きます。

Windows8.1 の場合

[スタート] → [すべてのアプリ(↓)] → [IJCAD 20XX 32bit/64bit 版] → [IJCAD ライセンス管理] を選択します。

Windows10 の場合

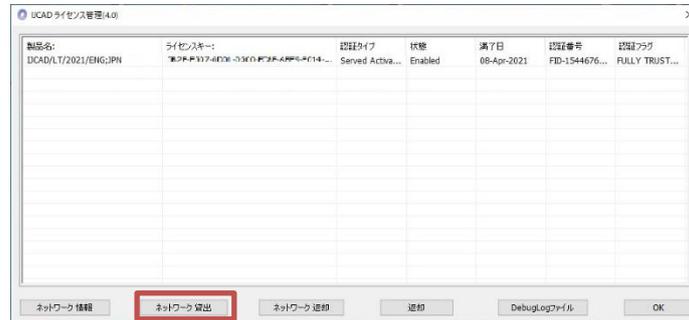
[スタート] → [IJCAD 20XX 32bit/64bit 版] → [IJCAD ライセンス管理] を選択します。

Windows11 の場合

[スタート] → [すべてのアプリ] → [IJCAD 20XX 32bit/64bit 版] → [IJCAD ライセンス管理] を選択します。

② 貸出ボタンをクリック

[ネットワーク貸出] ボタンをクリックします。



③ 項目の入力

以下の項目を入力します。

- **ライセンスキー**
サーバーに登録されているライセンスの中から、ライセンスを取得する対象となるライセンスのライセンスキーを入力します。
- **サーバー名**
ライセンスを取得するサーバーの IP アドレスを入力します。
- **ポート**
ライセンスを取得するサーバーで設定したポート 1 の番号を入力します。
- **有効期限**
借用期限を入力します。（最長 180 日）

[接続テスト] をクリックすると入力した情報でのサーバーへの接続が可能かどうか、テストすることができます。

[貸出] ボタンを押して決定します。

④ 完了

ライセンスの貸出が成功すると、メッセージボックスが表示されます。
[OK] をクリックして、閉じてください。

貸出処理の完了です。
[ライセンス管理] ダイアログに、借用したライセンスの情報が表示されていることを確認してください。

2-2. ライセンスの返却

クライアント側のパソコンから、借用中のライセンスを返却します。
(返却を行わない場合、有効期限を過ぎると貸出ライセンスは使用できなくなります。サーバーから取得できるライセンス数は自動で回復します。)

① IJCAD ライセンス管理の起動

以下の手順にて [IJCAD ライセンス管理] ダイアログを開きます。

Windows8.1 の場合

[スタート] → [すべてのアプリ(↓)] → [IJCAD 20XX 32bit/64bit 版] → [IJCAD ライセンス管理] を選択します。

Windows10 の場合

[スタート] → [IJCAD 20XX 32bit/64bit 版] → [IJCAD ライセンス管理] を選択します。

Windows11 の場合

[スタート] → [すべてのアプリ] → [IJCAD 20XX 32bit/64bit 版] → [IJCAD ライセンス管理] を選択します。

② 返却ライセンスの選択

返却するライセンスを選択した状態で、[ネットワーク返却] ボタンをクリックします。

③ 情報の入力

ネットワーク返却ダイアログが表示されますので、サーバーの IP アドレスとポートを入力し、返却ボタンをクリックします。

ネットワーク 返却

ライセンスキー: [masked]

サーバー名(IPアドレス): 192.168.0.XX

ポート: 27000

返却 キャンセル

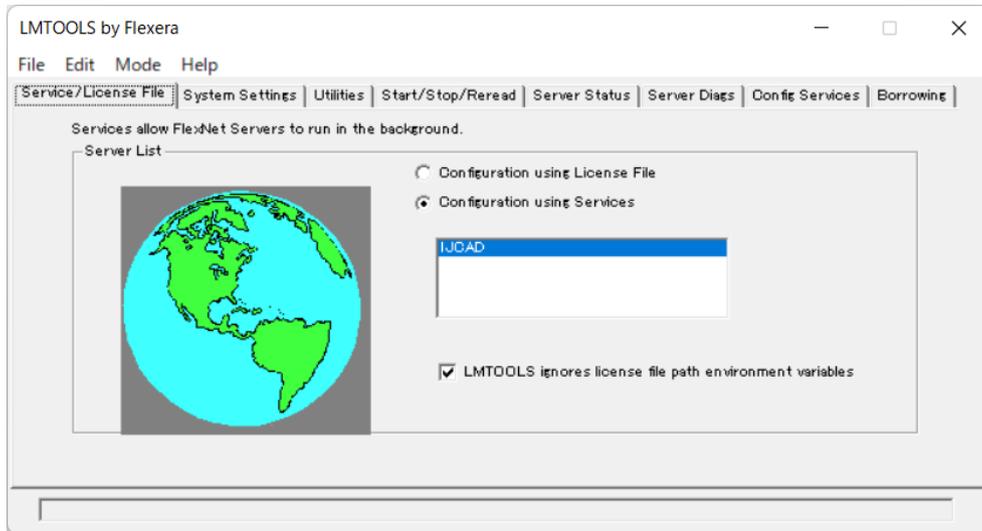
④ 完了

ライセンスの返却が成功すると、メッセージボックスが表示されます。
[OK] をクリックして、閉じてください。

返却処理の完了です。

3. LMTools について

IJCAD ネットワークライセンスマネージャーには、FLEXnet が提供するライセンスサーバー管理ユーティリティである **LMTools (英語版)** が用意されています。この LMTools を使用して、設定の確認や起動、停止等の操作を行うことができます。



- ※ LMTools は、IJCAD 付属のものをお使いください。他のアプリケーションに付属の LMTools をご利用になった場合、バージョンが異なるために正常にご利用ができない場合がございます。

3-1. LMTools の起動

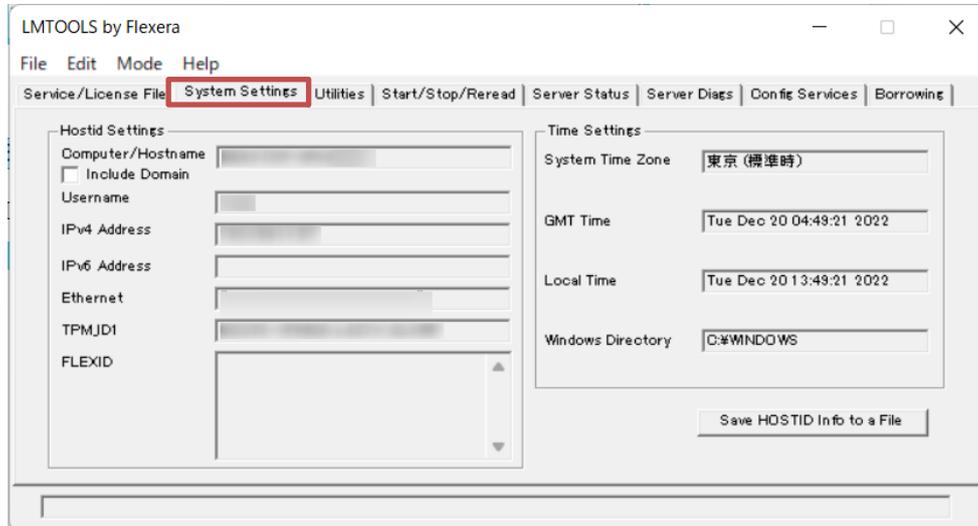
[LMTOOLS] ダイアログは、以下の手順で開くことができます。

Windows Server 2016、2019、2022 の場合

[スタート] → [IJCAD Network License Manager] → [LMTools] を選択します。

3-2. ホスト名、ホスト ID 等のシステムの設定確認

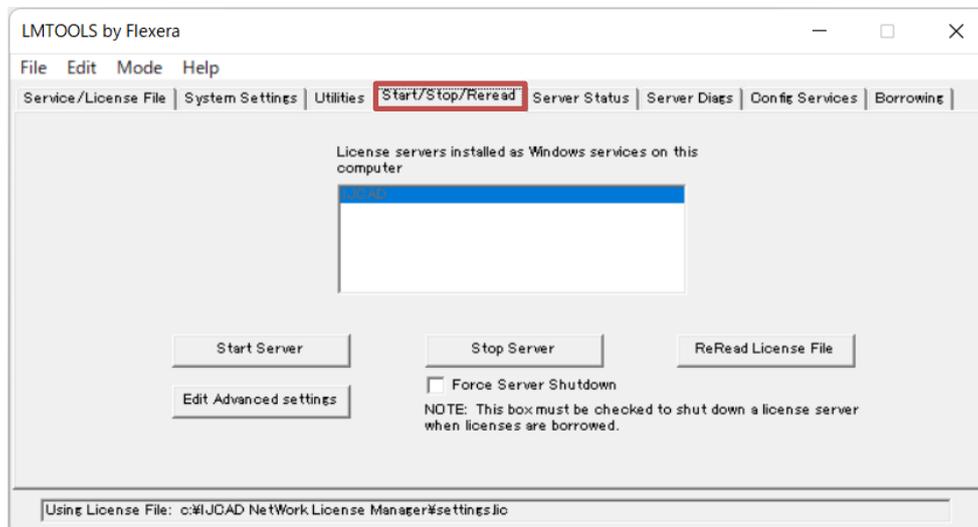
[System Setting] タブにて、以下の内容を確認することができます。



- **Computer/Hostname** ホストコンピュータ名
- **IP Address** ホストコンピュータの IP アドレス

3-3. サーバーの起動・停止

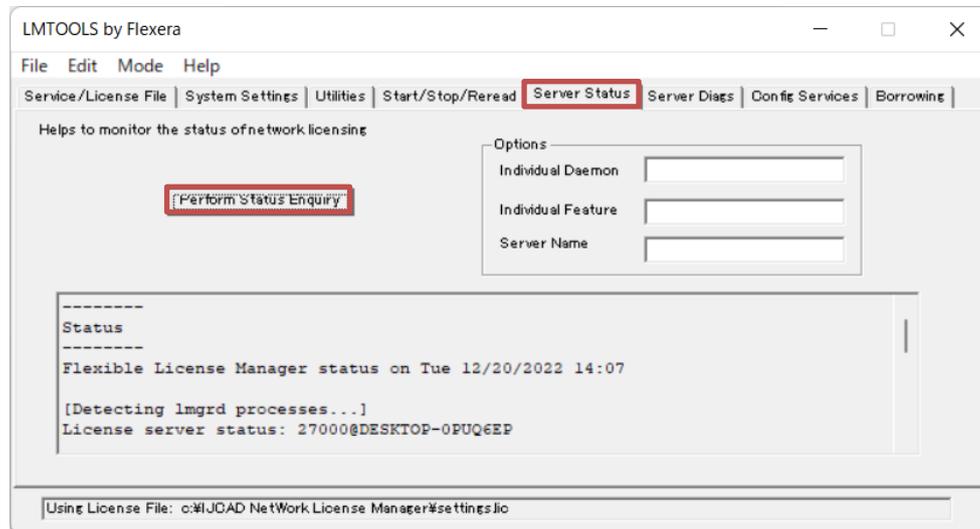
[Start/Stop/Reread] タブにて、以下の機能を使用することができます。



- **[Start Server] ボタン** IJCAD Network License Manager を起動します。
- **[Stop Server] ボタン** IJCAD Network License Manager を停止します。

3-4. ライセンスの使用状況の確認

[Server Status] タブにて、[Perform Status Enquiry] ボタンをクリックすると、サーバーで使用されているライセンスの状態を確認することができます。



例)

Users of IJCAD1_JPN: (Total of 10 licenses issued; Total of 3 licenses in use)

ライセンスの種類

所持ライセンス数

使用ライセンス数

⇒PRO 版が 10 ライセンスあり、現在 3 ライセンス使用されています。

"IJCAD1_JPN" v20XX, vendor: gstarlms floating license
SMX P-01 P-01 (v20XX) (build/27000 1532), start Thu 4/20 10:00

使用ユーザ名

使用マシン名

使用開始時間

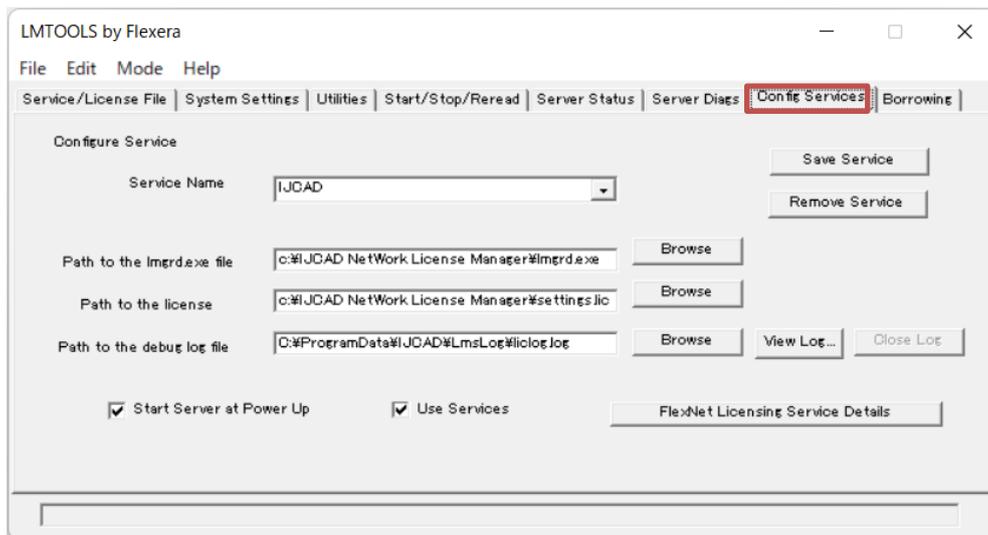
⇒マシン名：P-01、ユーザ名：SMX が PRO 版のライセンスを取得しています。

【ライセンスの種類の表記】

- ・ IJCAD1_JPN PRO 版ライセンス
- ・ IJCAD2_JPN STD 版ライセンス
- ・ IJCAD5_JPN LT 版ライセンス
- ・ IJCAD22_JPN Mechanical ライセンス
- ・ IJCAD23_JPN Mechanical+ライセンス
- ・ IJCAD25_JPN Electrical PRO ライセンス
- ・ IJCAD26_JPN Electrical LT ライセンス
- ・ IJCAD21_JPN Civil ライセンス
- ・ IJCAD31_JPN Arch ライセンス
- ・ IJCAD32_JPN Arch+ライセンス

3-5. デバックログファイル

[Config Services] タブにて、ログファイルの設定を確認することができます。



- **[View Log...] ボタン** ログの内容をウインドウに表示します。
- **[Close Log] ボタン** ログを表示したウインドウを閉じます。

[Path to the debug log file] に記載されているパスの先頭に「+」を追加すると、サービスが再起動してもログが追記されていくようにすることができます。
(※通常は再起動時にログがクリアされます)

ただし、ログを確認する時には、「+」を外してください。

4. クライアントのセットアップの初期値設定について

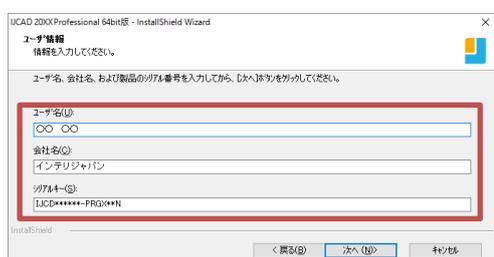
IJCAD のネットワーク版では、クライアントのセットアップ時に入力が必要な項目を、管理者側で事前に設定しておくことができます。

これにより、クライアント側の設定を統一することができ、多くのクライアントでセットアップを行う際に作業の短縮にもなります。

4-1. 設定可能な項目

管理者側で設定を行うことができるのは、以下の項目になります。

- ユーザー情報



インストール時に入力する「ユーザー名」「会社名」「シリアルキー」を設定することができます。

- サーバー名・ポート



ネットワークの設定を行う時に入力する「サーバー名」「ポート」を設定することができます。

※ サーバー名・ポートの設定は、IJCAD 新規インストール時のみ有効です。既に、サーバー名・ポートが登録されているパソコンへ、上書きを行うことはできません。

4-2. 管理者側での設定

① 設定用 ini ファイルの作成

テキストエディタに以下の内容を入力します。

```
[SetInfo]
SerialNo=(シリアルキー)
UserName=(ユーザー名)
CompanyName=(会社名)
[sentinel]
PORT=(ポート番号)
SER=(サーバー名)
```

入力例：

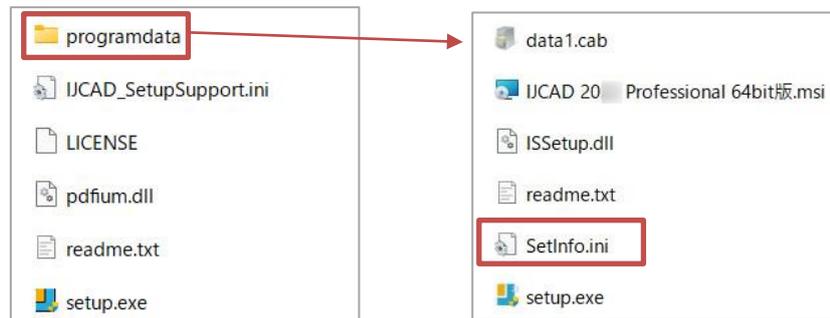
```
[Set Info]
SerialNo=IJCD123456-PRGXXS
UserName=ユーザー
CompanyName=インテリジヤパン株式会社
[sentinel]
PORT=27000
SER=01.234.567.890
```

ファイル名を **【SetInfo.ini】** にして保存してください。

② ini ファイルをセット

作成した **【SetInfo.ini】** を、インストール用のフォルダ[※]内にある「programdata」に移動します。

※ WEB サイトでダウンロードしたインストール用の ZIP ファイルを解凍したフォルダ



【SetInfo.ini】 が同フォルダ内に存在する状態で **【setup.exe】** からインストールを行うことで、設定が反映されます。

③ クライアントへの配布

各クライアントに **【SetInfo.ini】** を組み込んだインストール用データを配布してください。

(インストール方法の詳細については、セットアップマニュアルをご参照ください。)